

平成31年3月7日15時15分  
福岡市保健福祉局保健予防課（担当：山本，谷口）  
TEL 711-4270 内線2061

## 結核集団感染事例について

### 1 概要

市内保健所に肺結核患者の届出があり、患者と接触のあった市内の日本語教育機関関係者を対象に接触者健康診断等を実施した。これまでに結核患者19名、感染者（予防内服者）7名が確認され、厚生労働省が定める結核集団感染事例として、厚生労働省に報告しましたので、お知らせします。

### 2 経緯

- 初発患者（20代，男性）は、平成30年6月に咳症状出現。平成30年11月に咳症状がひどくなりA医療機関を受診し数日間処方薬を内服した。平成31年1月6日に高熱のためB医療機関を受診し入院。1月7日に肺結核が疑われC医療機関に転院し、市内保健所に肺結核患者の届出があった。
- 患者が通う市内の日本語教育機関関係者（229人）を対象に接触者健康診断等を実施した。平成31年3月5日現在、結核患者18名と感染者7名が確認された。なお接触者健康診断は対象者を拡大して実施中。

### 3 結核患者の概要

現時点で、初発患者を含め患者19名（入院4名，外来15名），感染者7名。

初発患者	20代・男性	
患者	10代・男性	1名
	20代・男性	10名
	20代・女性	6名
	30代・男性	1名
感染者 (予防内服者)	10代・女性	1名
	20代・男性	5名
	30代・女性	1名

### 4 今後の対応

内服治療中の方に対しては、服薬継続が確実に進むよう支援を行う。

当該日本語教育機関等に対しては、結核感染防止の指導を行う。

接触者健康診断は対象者を拡大し、速やかに実施する。接触者に対しては継続的に経過観察を行う。

**今回の情報提供は、市民への結核に関する啓発及び学校等における再発防止を促すために行うものであることから、報道にあたっては、患者等のプライバシー保護にご配慮をお願いします。**

#### ※ 結核の集団感染とは

同一の感染源が、2家族以上にまたがり、20人以上に結核を感染させた場合をいい、発病者1人を6人の感染者に相当するとして感染者数を計算。

### 参考

#### 1 結核とは

結核は、現在でも国内で1年間に約1万7千人の患者が新たに発病している病気です。

福岡市では、平成29年に新たに結核を発病した方（新登録患者）は191人で、新登録患者数は近年概ね減少傾向にあります。人口10万対結核罹患率は、12.2です（全国13.3）。

結核の特徴は以下のとおりです。2週間以上長引く咳や痰など気になる症状がある場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。

## 【結核の特徴】

原因（病原体）：結核菌

感染経路：結核は、たんの中に「結核菌」が出ている患者さんの、せきやくしゃみで飛び散ったしぶきを吸い込むことにより感染します。

感染と発病：「感染」＝「発病」ではありません。

結核菌が病巣をつくり、その中で増え始めると「結核を発病」した状態になりますが、感染した人がすべて発病するわけではありません。

結核の感染者のうち発病する人は、約1割といわれ、発病する場合は感染後6カ月頃から2年以内のことが多いといわれています。また、他の病気や加齢等により身体の抵抗力が低下したときにも発病しますので、数十年経って発病することもあります。

発病した場合の症状：初期の症状は風邪とよく似ているので、見逃されることがよくあります。

せきやたんが2週間以上続いたら、結核を疑って早めに医療機関を受診することが重要です。

治療方法：現在、結核によく効く薬（抗結核薬）が開発され、3～4種類の薬を6～12か月確実に服薬すれば治すことができる病気になりました。ただし、薬剤の選択が不適切であったり、途中で内服をやめてしまったり、飲み忘れたりすると薬が効かない「耐性菌」を生み出し、治療できる薬が少なくなり、手術や長期の入院・治療が必要になることもありますので、確実な内服治療が重要です。

なお、他者へ感染させる可能性がある状態（たんの中に結核菌が出ている状態）の場合は、入院治療が必要です。

## 2 福岡市内における結核患者の発生状況

新登録患者数及び罹患率(人口10万)

区分		平成5年	平成15年	平成25年	平成29年
福岡市	新登録者数	484	320	226	191
	罹患率	38.5	23.2	15.0	12.2
全国	新登録者数	47,437	31,638	20,495	16,789
	罹患率	38.0	24.8	16.1	13.3

## 3 福岡市内における結核集団感染の発生状況

過去の主な集団感染事例（福岡市）

公表日	場所	患者数等
平成26年5月	医療機関	結核患者3名，感染者4名
平成26年11月	医療機関	結核患者3名，感染者12名
平成29年1月	日本語教育機関	結核患者5名，感染者3名
平成29年11月	日本語教育機関	結核患者3名，感染者7名